



今日は、歩こう会でした。串木野高校校長です。よろしくお願いいたします。

今回のテーマは、「**肯定的に言い換える方法**」です。

今週は、芸術鑑賞会(私もギターを弾かせていただきました。<m(_)_m>), 本日は、歩こう会でした。照島海岸のウォーキング&ランニングは、小雨も上がり、時折、波と戯れたりしながら、心地よい汗をかきつつ、無事終了しました。保護者の皆様方の多くのサポートありがとうございました。

11月は、各学校の記念式典も続き、先日は伊集院高校 100 周年、明日は市来農芸高校 90 周年記念式典に出席してきます。爽やかな秋の空気の中、文化的・体育的な行事も進行しています。



さて、本日は、「**言い換え**」をテーマに書きました。

ご家庭で、お子さんと毎日話しておられると思います。

もちろん、我々教職員も、毎日、生徒らと話しています。やる気を起こさせる声掛けを意識しているつもりです。時には、叱咤激励、怒るということではなく、指導する、という意味合いを持たせる時もありますが、**基本的に、私は、「褒めて伸ばす」ことが大切だろう、と感じています。**(とは言っても、10~20 年前、自分の子どもには、あまり褒めていなかったなあ、というのが実感ではあるのですが…反省)ということで、このような言い換えはいかがでしょうか？というお勧めの言葉です。

例えば、「**勉強しないと、成績が落ちるよ**」を、「**勉強すれば、成績が上がるよ**」とか。同じ意味かもしれませんが、受ける印象は全く逆になるかもしれません。

無意識のうちに否定的な言葉を使ってしまいがちです。なるべく肯定的な言葉に言い換えすると、話している相手は好印象を持ち、コミュニケーションが取りやすくなるでしょう。

以下は、具体的な例です。

【否定】 試験に落ちたら昇進はできません。

【肯定】 試験に受ければ昇進できます。

【否定】 来週までに仕上げてもらわないと困ります。

【肯定】 来週までに仕上げてもらえると助かります。

【否定】 2日で企画書を用意することはできません。

【肯定】 3日いただければ、企画書は用意できます。

【否定】 この商品は売り切れてしまいました。

【肯定】 この商品の再入荷の日が分かりましたらご連絡いたします。

【否定】 今のやり方では、問題が解決しないと思います。

【肯定】 やり方を変えれば、問題が解決できると思います。

保育士さんが子どもに使う魔法の言葉

否定語→肯定語の例①

- ・「走らないで」→「歩いて」
- ・「立たないで」→「座ってて」
- ・「こぼさないで」→「両手で持って」
- ・「登らないで」→「降りようね」
- ・「手を離さないで」→「手を握ってて」
- ・「よそ見しないで」→「〇〇の方を見て」

上記のように、同じ内容のはずなのですが、大きく印象が異なります。「できません」と言われると、「諦めている」「否定されている」と感じる方もおられるでしょう。逆に、「〇〇すれば～できる」と言い換えるだけで、モチベーションが上がることもあります。

我々職員も「肯定的な言葉」を使用するよう心がけていますが、まだまだ修行中です。保護者の皆様方も意識されてみられてはいかがでしょうか？あ、しかし、特に、営業をされておられる方や自営業のご家庭などは、「何を今さら、当然のことでしょ！学校は常識が無いなあ～」という内容だったかもしれませんね。すみません。<m(_)_m>

歩こう会が終わり、中には、「のんびりと、ぜんぜん走らなかつたね～」という生徒がいたかもしれません。そこを、「ずーっと歩き続けて、感心だったねー、友達ともたくさん話せたね～、楽しかったね～」と、声掛けしたいですね。

串木野高校 頑張っています。

校長 堂蘭